



Kyoto Tops

Y'S MEN'S CLUB

国際主題：Faith,Love,Action 信念、愛、行動

アジア太平洋主題：Act now with faith and love ! 信念と愛を持って行動しよう！

西日本区主題：Let's enjoy the YYY life together

with our friends all over the world!!

世界中の仲間とYYY ライフを楽しみましょう!!

京都部主題 :Looking for the next stage ! 次のステージを求めて !

Chartered
10th. July 1994
11月号
第32巻
第5号
通巻361号

会長：鹿取俊志
副会長：的場幸生
本田正人
書記：相田広継
小林郁佳
会計：植浦基暁
河原信也



躍動するトップスクラブ

TOPSのバナーにはこまが三個配されています。TOPSのTOPとは独楽(こま)と言う意味もあります。こまは軸を中心回転し自由に動き回る。回転しなければ、倒れてしまうものです。トップスクラブは止まる事なく躍動し続けると言う意味でもあります。

鹿取俊志会長主題：< クラブをより良く > ~ 友情と成長 ~



ヘッド：内山亜衣 BF・EF・ファンド事業委員長

10月例会(レクチャー例会) ジャガーモファンド EMC万博遠足

リトセンハロウィン 国際・協力街頭募金 オリエンテーション

EMC経営塾 新入会員紹介

私の〇〇な言葉 YMCA NEWS



意味を知るからこそ 一枚岩になれる

内山亜衣 BF·EF·Fund事業委員長

Y'S MEN'S CLUB での
FUND とは？

『YMCAへの支援』
YMCAの活動を支援します。 **Yサ事業**

『地域奉仕事業の推進』
青少年育成や、
豊かな地域づくりを
目指す活動を支援します。 **CS事業**

CS事業
・児童養護施設監修会
・障がい者支援施設
・ぐんぐんハウス
・ワイスデー

どうせ買うなら知ってもらいたい♪

自分達が購入した、伝えたことで
得られたFund益が
誰の為にどんな風に
活用されているのかを
知つてもらった上で
モチベーションの1つに
していただきたいです!!

より良い
『Y'S♥LIFE』『TOP'S♥LIFE』を...

GOALS FOR THIS TERM
今期目標

FLYER
見える化

- LINE上で埋もれることのないようにひと目で分かるように
- 開ける手間を省く為、データーではなく何の案内かが一目瞭然
- 思わず欲しくなるようなキャッチーなアピール

TRANSMIT INFORMATION
外部への発信

- QRは載せていません
- メンバーが注文を
受けやすい用な言葉選び
- 様々な奉仕活動の
活動資金として
Top'sが責任を持って
活用させてもらうことを明記!

FUND 事業の成功は

Yサ事業 & **CS事業**

の成功につながる

今期Fund事業委員長を仰せつかり、まず思ったこと、それは『Fundってそもそも何？』でした。これまで、ブリテン委員会、CS事業委員会と、委員長をさせてもらい役員会にも参加し、過去のFund委員長の報告を目の前で見ていましたにも関わらず、私の理解は乏しいものだったんです。そして入会したての頃、グループLINEや、例会時の委員会報告を見ていて聞きなれないワード用語の中で、飛び交う『Fund商品の案内』もまた良く分かっていなかったことを思い出しました。

訳も分からず「みんなが買っているから何となく頼まなきゃいけないのかな？」と感じていたり、「メンバーの商品だから買ってるのかな？」とも思っていたんです(^-^) まったく本質をよく分からないまま購入したり、しなかったり。。。そんな事を思い出すと共に、私みたいなメンバーも以外と多いのかもしれません？？、そう思いました。

支援金を募る募金活動などをしている時にも同じような事を感じますが、どうせ募金をしてもらうなら、自分のした行動(募金)が『どんな環境や誰の為に役立つ為の募金』なのかを知つてもらえた方が、何十倍、何百倍、何千倍もの価値があるようになります。

『Fund益』もまったく同じで、初期の私のように何も分かっていなくても購入した商品の一部が支援先への活動資金になっていることには代わりないかもしれませんけれど、どうせならFund事業が何の為に存在しているのかを知つてもらいたい、自分の購入したFund商品から得たFund益が、どんな活動に活用されているのかを分かってもらった上で、購入してもらえた方が、ただただ集まったお金とは違い、みんなの『気持ち』が『付加価値』としてのせられたFund益になるんじゃないか。そのように感じます。

と、同時に、CS事業の委員長をさせてもらった際に、せめて今ぐらいの理解があれば、きっとFund事業への取り組みも、もっと協力できたんじゃないかな？とも思いました。その当時にしていた支援先さんへの事業が行えていたのも、Fund委員のメンバーが軸となり、メンバーがFund商品を購入し、外部の方へのアピールをしてくれていたからこそ、できていたんだということが分かった今、尚更思うことは、どの委員会に属していたとしても、すべて『一枚岩』なんだということです。

『①気持ちがのせられた付加価値付きのFund益』そして、『②理解が深まると属している委員会だけでなくクラブ全体を見る事ができる』この2つを考えただけでも、やはりFundの【本質】を伝えていくことは必須だと思っています(^^)

尚且つ、Fund商品を提供していただく方達にとっても、提供価格でご迷惑がかからないようにしつつ、せっかく提供していただいた商品を、より魅力的に伝えられる工夫をしていきたいと思っております。そして、もう1つ大事なことは、今期が終わった後も後世に続く、トップスクラブのYサ・CS事業の為のFund事業がスムーズに滞りなく活動できるよう、継続的に取り扱うことのできる商品を1つでも多く見つけ、そして、メンバーはもちろん、メンバー以外の方達からもリピートしてもらえるような工夫を、今期をかけてやっていきたいと思っております。

ご協力いただくこと、まだまだ沢山あるかと思いますが、Fund事業委員のメンバーも本当に皆、協力的に活動してくれています。今期としては残り8ヶ月ですが、1人でも多くの方にFund事業の存在をより深く理解してもらえるように努めていきたいと思ってますので、どうぞ宜しくお願い致します(*^~^)V

レクチャー例会(10月例会)

日時: 2025年10月8日

柴崎翔伍Y's

場所: ウエスティン都ホテル京都

鹿取期の10月例会はレクチャー例会でした。トップスクラブは、歴史も長いので、ベテランのメンバーさんから新しくクラブに入会したメンバーさんまで幅広い会歴のメンバーがいますが、会歴の浅いメンバーさんにとっては、各委員会がどのような活動をしているのか、まだあまり分かっていないことも多かったと思いますが、今回改めて各委員長さんから、活動についてのレクチャーを受けて、よりクラブに対する理解が深まったと思います。

また、今回はラオスにYMCAを!特別委員会委員長の新山ワイズより、ラオスにYMCAを設立するというプロジェクトがどのような経緯や思いで始まったのか、これまでの苦労とこれからの展望について、熱いお話を聞かせていただきました。

今期は入会者も多く、10月例会でも2名の入会式を行うことができました。新しく入会されるメンバーさんにも、今回のレクチャー例会で改めて聞いたお話をみんなで共有して、クラブをより良くしていくならと思える例会でした。



じゃがいもファンド

日時: 2025年10月18日

新井貴文Y's

場所: 丸新運輸(株)

今回初めて、ジャガイモの引き取りに参加しました。当日は仕事終わりに寝ずにそのまま現地へ向かいました。

実際に動いてみると、普段の例会や報告では分からぬ部分も見えて、とても良い経験になりました。初参加で分からぬことも多かったですが、周りの方が声をかけてくれて助かりました。ありがとうございました。



11月強調月間

BF

BF(ビルディングフェローシップ)の意味を理解し、国際奉仕団体のメンバーとして、この基金の充実と活用に貢献しましょう。古切手を集め、メンバー同士で交流を深めましょう。

中西賢一 国際・交流事業主任

聖句

加藤信一Y's選

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

ローマの信徒への手紙 12章15節

10月報告

例会出席

メンバー数
(広義会員4名含む)
出席メンバー
ネット・コメント
ゲスト
メーキャップ
出席率

スマイル

10月 21,000円
累計 74,000円

ファンド

10月現金 260,374円
収益累計 644,502円

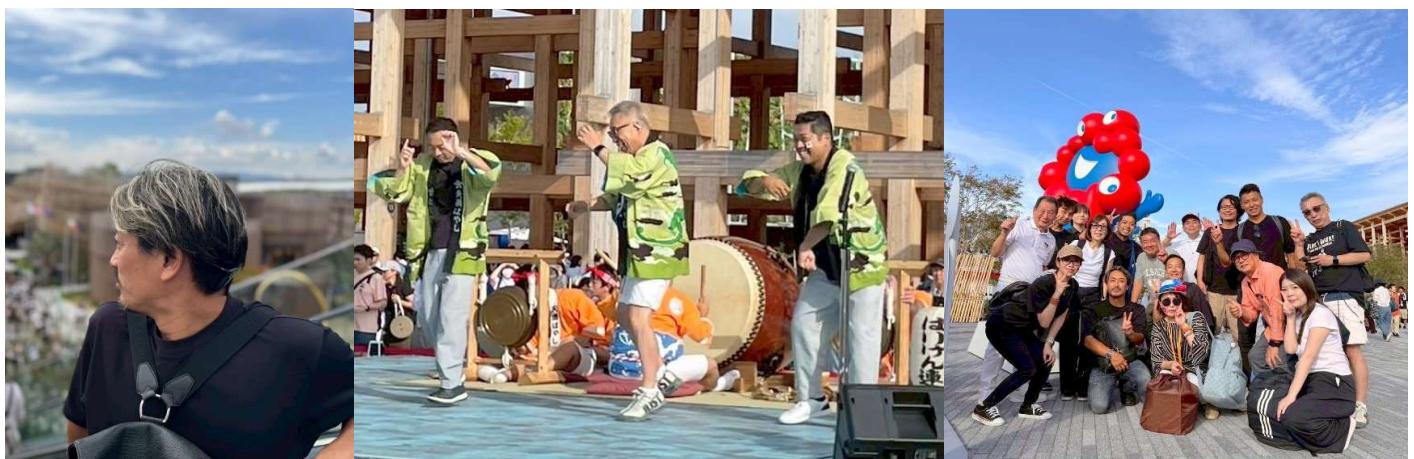
10月2日、EMC万博遠足に行きました。8時45分に伊勢丹駐車場前のセブンイレブン1階で待ち合わせでしたが、いつも早く着かれている新山Y'sが来られていませんでした。違った場所のセブンイレブンに8時ごろから待たれていきました。河原信也Y'sが迎えに、ぎりぎり来た相田Y'は間違ってアバンティー前だと思いこみ待っていても誰も来ないので確認したら違うことに気づき集合場所に来られました。

9時ごろに4台の車で乗り合わせ、大阪北港マリーナ駐車場まで行き、そこからタクシーで東ゲート近くのコンビニで降り、徒歩で東ゲートに向かって行きました。思ったよりゲートを通って入場するのは時間がかかりませんでした。メンバーが16人いたので3班に分かれて行動し、先に東ゲート付近にある土産物屋で買い物をしたり散策したりして、藤崎EMC事業委員長が手配してくれた昼食の幕の内弁当を食べました。

それから、上りのエスカレータで大屋根リングに、一部分上を歩いて階段で下まで降りました。降りた近所には噂の2億円トイレがあり、トイレ行きがてら見学してきました。そこからは大屋根リングの下を歩きながら入れそうなパビリオンがあれば入ろうと試みましたがいっぱいでした。

最終、ポップアップステージ西付近で待ち合わせしていました。ステージで天満ばやしが開始され、ステージ上に上がって一緒に踊りましょうと言われました。船木Y's・河原信也Y's・相田Y'sがステージで踊りました。しんどいと言いながら船木Y'sたちが戻ってこられ、ミャクミャクの像の前で集合写真を撮り、15時過ぎには西ゲートから退場し、帰路につきました。

参加者：鹿取会長・藤崎EMC事業委員長・相田Y's・新井Y's・新山Y's・石田Y's・織田Y's・河原信也Y's・小林郁佳Y's・廣田Y's・船木Y's・舞田Y's・山下Y's・吉田早希Y's・吉田信子Y's・加藤Y's



リトセンハロウィン

日時： 2025年10月18日

鹿取俊志会長

場所： 京都YMCAリトリートセンター

10月18日(土)京都YMCAリトリートセンターにてリトセンハロウィンが開催されました。

当日Y'sポテトの引取を終えて9時からリトセン内の食堂、食堂前映えスポット、ロッジ、ZEROキャビンをハロウィン仕様にYMCAリーダーと協力して飾り付けをおこないました。トップスメンバーは画像LINEにて見られたかと思います。

始まりは4年前からで集客、案内、食事やイベント内容などはリトセン委員会の方(YMCAの遠藤さんもおられます)が中心におこない、内山Y'sが備品の購入から飾り付けを担当されておりTOPSクラブがYサ事業として参加、サポートさせていただいている。

毎年変わる所はありますが今年のイベント内容としてはロッジにて紙飛行機作り、映えスポットにて撮影タイム、食事(地元の奥様達も食事の準備に数名参加していただいている)子供達の肝試し的なゲーム(暗い中BBQサイトをスタートしてZEROキャビンの中でお宝を探し、食堂迄1人で歩いて行きます)といった内容で実際のプログラムは16時～20時過ぎ迄行いました。

今年は天気がよくなかったのもあり参加者が少なかったのが少し残念でしたが長丁場のイベントを無事に終える事が出来ました。お子様向けのイベントですが年齢層が幅広くなったり、お子様の参加が増えたりもう少し盛況になれば良いなと感じました。

前年までは終了後に片付けをしていて大変だったのですがせっかくの飾り付けなのでハロウィン期間は楽しんでいただく事となり次期からは10月頭に飾り付けをして10月末から11月頭に片付けをするといった感じになるかと思います。次期も開催される事となるかと思いますので準備のお手伝いやイベントのみ、お子様と一緒に、などで参加していただけましたら幸いです。よろしくお願ひいたします。



国際協力街頭募金

日時: 2025年10月26日

場所: 四条大橋

倉卓也Y's

10月26日日曜日に毎年この時期に行なっている街頭募金活動に参加しました。京都YMCAのリーダーや野外活動などされている子どもたちと一緒に京都市内の繁華街の街角に立ち募金活動をしました。

今回、トップスクラブの担当する場所は四条大橋でした。北西・南西側の歩道に立ち雨が降る中の募金活動となりました。四条大橋界隈は通行人に日本人は少なくほとんどが外国人観光客だったように感じました。私たちの言葉を理解してかはわかりませんが外国からの観光客も募金に協力してくださいました。戦争や迫害で自分の国や地域を追われた、家族を養うため学校に通えず教育をうけれない…世界中で困っている人がたくさんいます。

また地球規模での気候変動・温暖化などによる災害・大地震で苦しんでる人たち。そんな人たちを支援するための募金活動です。集められた募金は世界120の国や地域にあるYMCAのネットワークを通して届けられます。

今回担当した場所で集められた募金額は47,640円でした。1人ひとりの力は小さいけれど、皆んなの力を集めれば大きな力になります。私たちの活動が少しでも世の中の役に立てれば良いと思います。皆さま雨の中お疲れ様でした。



オリエンテーション

日時: 2025年10月27日

場所: 京都YMCA



今期3回目となる、小林耕志郎さん、相馬周介さん、中澤栄太郎さんの入会オリエンテーションが開催されました。11月12日の例会で入会式が行われ、新しい仲間となられます。

スケジュール 11・12月

11月 1日 (土) 聖嬰会祭り
3日 (月) ぐんぐん手づくり市
9日 (日) ワイズデー
12日 (水) EMC・ファンド合同ゴルフコンペ
Yサアワー例会
26日 (水) 役員会
30日 (日) リトセンオータムフェスタ

12月 20日 (土) クリスマスファミリー例会
23日 (火) 役員会



今回の経営塾は、京都岩倉逸京グループを率いる、トップスマネージャー、植浦基暁氏による講演「食品添加物の本当の理由を学びながら「無添加食品と飲食事業について」」が、2025年10月30日に、岡崎庵にて行なわれました。

植浦さんは、京都芸術大学(旧京都造形芸術大学)環境デザイン学科卒業の後、大阪のデザイン会社に就職し3年勤務の後、京都の京ブランド会社に就職、サービス事業部本部長と社長室長として7年間勤め、7年間の間には①京町屋再生事業②飲食事業③ブライダル事業④ホテル事業、と多様な業種について、25歳くらいの若さから、年上の事業担当者を相手に指導され、いろんな軌跡の中、持ち前の頭の回転の良さ、コミュニケーション能力、センスの良さ、実行力で、支持者、信奉者を増やされ、独立の際には、多くの協力の申し出があったそうです。

もともと兵庫県出身の植浦さんは、京都ブランドには、こだわってなかったそうですが、たまたま、京都市岩倉に厨房付きの良い物件が見つかり、賛同される料理人も居られた事から、京都岩倉で独立することになり、デザイン事業と食品加工製造業、給食事業、飲食事業をスタートされ、「京都岩倉逸京(いっけい)」ブランドを立ち上げられました。

講演の中で、面白かったのが、店舗展開の手法です。素人目には、グランフロントや、都心部の有名百貨店が、お客様も多そうで、1番良い場所だと思いますが、植浦さん曰く、新快速が止まる郊外の百貨店が好立地だそうです。都心部は土日の人出は多いが、平日はそうでないそうです。郊外の方が、平日奥様、近所の人が来られて客数が安定し、従業員の求人でも、求職者は郊外在住が多く、交通の便が良いと応募も多く出店コスト、交通費も安く済み、店舗間の人材のヘルプもし易い！

販路の拡大も、アンテナショップで出店し、興味のあるバイヤーから要請があれば、自社に合った客のいる場所に出店するという、合理的で堅実なものでした。

もともとアート志向の方だけあって、経営を数字だけでなく、人を見ながら、全体を見渡しながらデザインされている印象を受けました。

新入会員紹介



佐々木 健悟

はじめまして！佐々木健悟です！

私は不動産会社をしております。元々某不動産会社に勤務しておりましたが、仕事の中で今の共同代表と縁があり、2023年11月、共同で不動産会社を設立しました。

趣味は料理研究、キャンプ、釣り、野球観戦、楽器演奏、講談・落語鑑賞などがあり、気になったら一度やってみる精神で、様々なことに興味があります。何か面白い趣味があれば教えてください。

さて、私が京都トップスクラブに入会した経緯ですが、私が学生時代に本で出会った、ある歴史上の人物から奉仕の精神を学び、いつか何かの形で社会に貢献をできたらな、と思っておりました。

そんな中、河原信也Y'sと出会い、入会の機会をいただきました。京都トップスクラブでは、様々な方との交流はもちろん、社会貢献の活動を積極的に参加し、火中の栗を捨てるような精神で参りたいと思います。

株式会社沼田工業 代表取締役 沼田幸一です。

自己紹介の文章を書くのは生まれて初めてです。生まれの家族構成は、祖父母・父・母・姉2人と私です。末っ子長男で生まれました。2歳から記憶があるのですが、皆に可愛いがられて愛されていましたと感じます。

幼稚園では落ち着きがなく問題児で、小学校では落ちこぼれの問題児で、中学校で不良になり、何とか入れたラグビーの強豪校でも問題児でした。高校を何とか卒業して、建築職人の父親に弟子入りをして、22歳で独立し今の職業を続けています。20歳で結婚して、子供が6人生まれ、1人娘が7か月で亡くなり、悲しみに明け暮れる日々やギャンブル依存症になったり、その後、離婚や難病、糖尿病になったり、波乱万丈な時期に今のお嫁さんと出会い、娘が生まれ色々な人に助けられて今が一番幸せに感じています。

こんな私ですが、昔から人の気持ちを大切に思うことが一番大事と生きてきました。その思いがこの場所で役立つように活動していきたいです。簡単ですが、私の自己紹介とさせていただきます。



沼田 幸一

私の○○な言葉

庭井憲治国際・交流事業委員長

好きな言葉：諦めたらそこで試合終了ですよ

小林保彦Y's

好きな言葉：失敗に勝る天才は無し!

東剛士Y's

座右の銘：一回やってみる



ホームページ上で募金ができるようになりました

京都YMCAのホームページ上からクレジットカードでも寄付・募金ができるようになりました。

詳細は→https://kyotoymca.or.jp/?page_id=2026 または下記二次元コードをご覧ください。

引き続きのご支援をお願い申しあげます。

●ホームページ上でお手続きいただける寄付・募金は以下です。

- A. リトリートセンター開設60周年記念募金
- B. 公益活動寄付金
- C. 国際協力募金
- D. 奉仕活動基金
- E. 子ども支援基金

